

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【公開番号】特開2020-145719(P2020-145719A)

【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2020-037

【出願番号】特願2020-86592(P2020-86592)

【国際特許分類】

H 04 L 1/00 (2006.01)

H 04 B 17/24 (2015.01)

H 04 W 16/28 (2009.01)

H 04 W 28/04 (2009.01)

【F I】

H 04 L 1/00 E

H 04 L 1/00 A

H 04 B 17/24

H 04 W 16/28 1 3 0

H 04 W 28/04

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月1日(2020.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線送受信ユニット(WTRU)において実行される方法であって、

前記WTRUが、複数のフィードバックビットを生成することと、

前記WTRUが、巡回冗長検査(CRC)ビットの第1のセットを前記複数のフィードバックビットに含まれるフィードバックビットの第1のサブセットに付加することと、

前記WTRUが、前記フィードバックビットの第1のサブセットおよび前記CRCビットの第1のセットにチャネル符号化を実行することと、

前記WTRUが、CRCビットの第2のセットを前記複数のフィードバックビットに含まれるフィードバックビットの第2のサブセットに付加することと、

前記WTRUが、前記フィードバックビットの第2のサブセットおよび前記CRCビットの第2のセットにチャネル符号化を実行することと、

前記WTRUが、前記チャネル符号化されたフィードバックビットの第1のサブセットおよびCRCビットの第1のセットと、前記チャネル符号化されたフィードバックビットの第2のサブセットおよびCRCビットの第2のセットとを備える送信を送ることとを備える方法。

【請求項2】

前記複数のフィードバックビットは、プリコーディングマトリックスインデックス(PMI)、チャネル品質インデックス(CQI)、ランクインジケータ(RI)またはハイブリッド自動再送要求(HARQ)フィードバックのうちの1つまたは複数を備える、請求項1の方法。

【請求項3】

前記送信は、物理アップリンク制御チャネル(PUCCCH)の上で送られる、請求項1

の方法。

【請求項 4】

前記送信は、物理アップリンク共有チャネル（PUSCH）の上で送られる、請求項1の方法。

【請求項 5】

前記WTRUが、前記フィードバックビットの第1のサブセットに含まれるビットの数に基づいて前記CRCビットの第1のセットにおけるCRCビットの数を選択することをさらに備える、請求項1の方法。

【請求項 6】

前記WTRUが、前記フィードバックビットの第1のサブセットおよび前記CRCビットの第1のセットにチャネル符号化を実行するために使用されるチャネル符号化スキームを前記フィードバックビットの第1のサブセットに含まれるビットの数に基づいて選択することをさらに備える、請求項5の方法。

【請求項 7】

前記CRCビットの第1のセットにおける前記CRCビットの数は、16ビットまたは24ビットであるように選択される、請求項5の方法。

【請求項 8】

前記WTRUが、第2の複数のフィードバックビットを生成することと、
前記WTRUが、CRCビットを前記第2の複数のフィードバックビットに付加しないことを決定することと、
前記WTRUが、ブロック符号を前記第2の複数のフィードバックビットに適用することと、
前記WTRUが、ブロック符号化された第2の複数のフィードバックビットを備える第2の送信を送ることと
をさらに備える、請求項1の方法。

【請求項 9】

前記複数のフィードバックビットは、WTRU通信帯域幅の異なるサブバンドについてのフィードバックを備える、請求項1の方法。

【請求項 10】

無線送受信ユニット（WTRU）であって、
複数のフィードバックビットを生成し、
巡回冗長検査（CRC）ビットの第1のセットを前記複数のフィードバックビットに含まれるフィードバックビットの第1のサブセットに付加し、
前記フィードバックビットの第1のサブセットおよび前記CRCビットの第1のセットにチャネル符号化を実行し、
CRCビットの第2のセットを前記複数のフィードバックビットに含まれるフィードバックビットの第2のサブセットに付加し、
前記フィードバックビットの第2のサブセットおよび前記CRCビットの第2のセットにチャネル符号化を実行し、
前記チャネル符号化されたフィードバックビットの第1のサブセットおよびCRCビットの第1のセットと、前記チャネル符号化されたフィードバックビットの第2のサブセットおよびCRCビットの第2のセットとを備える送信を送る
ように構成されたプロセッサを備えたWTRU。

【請求項 11】

前記複数のフィードバックビットは、プリコーディングマトリックスインデックス（PMI）、チャネル品質インデックス（CQI）、ランクインジケータ（RI）またはハイブリッド自動再送要求（HARQ）フィードバックのうちの1つまたは複数を備える、請求項10のWTRU。

【請求項 12】

前記送信は、物理アップリンク制御チャネル（PUCCH）の上で送られる、請求項1

0 の W T R U。

【請求項 1 3】

前記送信は、物理アップリンク共有チャネル（P U S C H）の上で送られる、請求項 1 0 の W T R U。

【請求項 1 4】

前記プロセッサは、前記フィードバックビットの第 1 のサブセットに含まれるビットの数に基づいて前記 C R C ビットの第 1 のセットにおける C R C ビットの数を選択するようさらに構成される、請求項 1 0 の W T R U。

【請求項 1 5】

前記プロセッサは、前記フィードバックビットの第 1 のサブセットおよび前記 C R C ビットの第 1 のセットにチャネル符号化を実行するために使用されるチャネル符号化スキームを前記フィードバックビットの第 1 のサブセットに含まれるビットの数に基づいて選択するようさらに構成される、請求項 1 4 の W T R U。

【請求項 1 6】

前記 C R C ビットの第 1 のセットにおける前記 C R C ビットの数は、16 ビットまたは 24 ビットであるように選択される、請求項 1 4 の W T R U。

【請求項 1 7】

前記プロセッサは、

第 2 の複数のフィードバックビットを生成し、
C R C ビットを前記第 2 の複数のフィードバックビットに付加しないことを決定し、
ロック符号を前記第 2 の複数のフィードバックビットに適用し、
ロック符号化された第 2 の複数のフィードバックビットを備える第 2 の送信を送る
ようさらに構成される、請求項 1 0 の W T R U。

【請求項 1 8】

前記複数のフィードバックビットは、W T R U 通信帯域幅の異なるサブバンドについてのフィードバックを備える、請求項 1 0 の W T R U。

【請求項 1 9】

ネットワークノードであって、

無線送受信ユニット（W T R U）から送信を受信し、前記送信は、チャネル符号化されたフィードバックビットの第 1 のサブセットおよび巡回冗長検査（C R C）ビットの第 1 のセットと、チャネル符号化されたフィードバックビットの第 2 のサブセットおよび C R C ビットの第 2 のセットとを備え、

前記チャネル符号化されたフィードバックビットの第 1 のサブセットおよび C R C ビットの第 1 のセットを復号し、

前記 C R C ビットの第 1 のセットを使用して前記フィードバックビットの第 1 のサブセットにおけるエラーをチェックし、

前記チャネル符号化されたフィードバックビットの第 2 のサブセットおよび C R C ビットの第 2 のセットを復号し、

前記 C R C ビットの第 2 のセットを使用して前記フィードバックビットの第 2 のサブセットにおけるエラーをチェックする

ように構成されたプロセッサを備えたネットワークノード。

【請求項 2 0】

前記プロセッサは、

前記 W T R U から第 2 の送信を受信し、前記第 2 の送信は、ロック符号化された第 2 のフィードバックビットを備え、C R C ビットは、前記第 2 の送信における第 2 のフィードバックとともに符号化されて含まれておらず、

ロック符号化された第 2 のフィードバックビットを復号する

ように構成された、請求項 1 9 のネットワークノード。